

部課名		議会事務局											
課の使命		<ul style="list-style-type: none"> ・議会の権能を十分に発揮できるよう市議会を補佐する機関として、円滑な議会運営に努めます。 ・市民の代表である市議会議員の議員活動をサポートすると共に、正確で迅速な議会情報を広くわかりやすく提供していくことで、市民・議員(来市される他市の議員を含む)・行政など幅広い顧客の信頼へとつなげていきます。 											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定				中間確認			年度末確認						
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	-	議場見学の推進	小学3年生の社会科見学等を受け入れます。受け入れに際しては、各関係部署と見学内容や実施方法の協議を行い、より利用しやすく興味を持っていただけるような議場見学を実施していきます。	議場の見学者数	3,450人	○	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科見学について、関係部署と日程調整を重ね、積極的に受け入れています。上半期の受入件数は、9校(962人)です。 ・8月6日(水)に「夏休み子どもフェア」での小学生による議場体験(60人参加)を開催しました。 ・9月末時点の議場見学者数は1,179人です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下半期の小学校社会科見学の受入件数は、28校(2,881人)の予定です。 ・11月2日(日)に「高校生と町田市議会議員の意見交換会」を、11月29日(土)に「まちカフェ！」を開催する予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科見学の年間受入数は、38校(3,171人)となりました。関係部署や小学校と事前調整を行い、各小学校が見学日程や行程を組みやすくなるよう柔軟に対応しました。 ・若い世代の市議会に対する関心が高まるように、「夏休み子どもフェア」での小学生による議場体験(小学生60人参加)や「高校生と町田市議会議員の意見交換会」(高校生50人参加)を開催しました。また、10月26日(日)には「第21回子ども達の税サミット」で小学校5・6年生による議場での「税」をテーマとした意見交換等(小学生16人参加)を実施しました。 ・上記の他、他自治体の行政視察等で、345人が議場見学を行いました。 ・「まちカフェ！」で、議場での講演会及びコンサートを開催しました。 	3,516人	C	C:目標水準を達成したためです。	若い世代の市議会に対する関心を高めていくため、引き続き関係部署と連携し、小学校社会科見学等の受け入れを実施していく必要があります。
2	-	情報発信の研究	社会情勢等の変化に即して市民の様々なニーズを把握するとともに、よりの確な情報発信(SNS・ホームページの活用等)を研究していきます。	情報発信の検証・研究の実施	検証・研究の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市議会公式Xにおける一般質問のお知らせについて、議員の顔写真を用いた投稿を行い、発信情報のわかりやすさ(明確さ)を向上させました。 ・町内会・自治会向けに配布している市議会のお知らせに関するチラシに二次元コードを追加し、アクセシビリティを向上させました。 ・市議会に関する市民向けアンケートの実施に向け、使用するツールや発信方法について検討を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月30日(木)から12月31日(水)まで、市議会に関する市民向けアンケートを実施する予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢等の変化に即した情報発信(SNS・ホームページの活用等)検証・研究の成果として、年間で以下の4件について取り組みました。 ・町田市議会公式Xにおける一般質問のお知らせについて、議員の顔写真を用いた投稿を行い、発信情報のわかりやすさ(明確さ)を向上させました。 ・町内会・自治会向けに配布している市議会のお知らせに関するチラシに二次元コードを追加し、アクセシビリティを向上させました。 ・市議会に関する市民向けアンケートを10月30日(木)から12月31日(水)まで実施し、61名から回答がありました。周知には町田市議会だより、町田市議会ホームページ、町田市議会公式X、町田市公式LINEを使用し、幅広い世代の市民の議会に対するニーズ等を把握しました。 ・他自治体に対し、傍聴規則に関する調査を行い、その結果をもとに規則改正を行いました。改正に合わせて、傍聴券の注意事項を変更し、より分かりやすい案内につなげました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証・研究の実施 ・新規での情報発信の取組を実施 	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	今後も社会情勢等の変化に即した情報発信の方策を研究し続けていく必要があります。

順位	計画 類型	年度目標設定				中間確認		年度末確認					
		取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
3	人材 育成	「改革・改善志 向」	課内の業務を見直し、課題の発見や改善案を検討し、業務を平準化、効率化するための取組を行います。	①課題・改善の提案件数 ②業務効率化の取組件数	①4件 (うち中・長期的視野における提案2件、短期的視野における提案2件) ②2件	○	課内の業務を見直し、以下の4件について、業務効率化の改善案を提案・検討しました。 【中・長期的視野】 ・市議会議員選挙に伴う改選時の事務手続きマニュアルの改訂 ・議会専用ネットワークの安定的な運用のための仕様の見直し 【短期的視野】 ・議長・副議長の就退任時における通知手続きの電子化 ・市議会だよりの原稿作成から発行に至るまでのチェックリストの見直し	上半期に提案した改善案に取り組み、業務の効率化に努めます。	課内の業務を見直し、以下の4件について、業務効率化の改善案に取り組みました。 【中・長期的視野】 ・市議会議員選挙に伴う改選時の事務手続きマニュアルについて、選挙前から選挙後の流れに沿って、各段階で必要な作業が分かりやすくなるよう改訂を行い、業務の質やマニュアルの利便性を向上させました。 ・近隣市への調査や事業者へのヒアリングを行い、議会専用ネットワークの安定的な運用および障害や問合せが減少するように仕様を見直しました。 【短期的視野】 ・議長・副議長の就退任時における通知手続きの電子化を行い、紙の使用量を削減しました。 ・市議会だよりの原稿作成から発行に至るまでのチェックリストの見直しを行い、担当者間で共有し、作業効率の向上と、より確実な発行体制を確立しました。	①4件 ②4件	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、事務事業のさらなる改善に向け、既存業務の効率化を行ってまいります。
4	事務 事業 見直し	行政視察接遇 事業	視察受入れ時の説明資料を事前のメール送付等で代替することにより、紙の削減をします。	視察受入れ件数に占める説明資料のペーパーレスでの実施率	30%	○	視察受入れ件数全10件のうち、3件(30%)をペーパーレスで実施しました。	引き続き、ノートPCやタブレット端末の活用による紙の削減に加え、視察受入れ時の説明資料を事前のメール送付等で代替することにより、紙の削減をします。	視察受入れ件数全19件のうち、7件(約37%)をペーパーレスで実施しました。	37%	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、ノートPCやタブレット端末の活用による紙の削減に加え、視察受入れ時の説明資料を事前のメール送付等で代替することにより、紙の削減をします。
5	人材 育成	「改革・改善志 向」	テレワークの実施率を向上させることで、業務の効率化や働きやすい職場環境づくりを行います。	テレワークの実施日数	40日	○	テレワークを課内で積極的に推進し、実施しやすい雰囲気を醸成することで、延べ20日テレワークを実施しました。事務作業を中心に業務を効率的に実施しました。	引き続き、テレワークの実施を推進し、業務の効率化や働きやすい職場環境づくりを行います。	年間を通して、テレワークを実施しやすい雰囲気や働きやすい職場環境を構築してまいります。	46日	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き、テレワークの一層の定着を図り、業務の生産性を高めるとともに快適な職場環境を構築してまいります。

部課名		議会事務局 議事担当											
課の使命		<ul style="list-style-type: none"> ・議会の権能を十分に発揮できるような市議会を補佐する機関として、円滑な議会運営に努めます。 ・市民の代表である市議会議員の議員活動をサポートすると共に、正確で迅速な議会情報を広くわかりやすく提供していくことで、市民・議員(来市される他市の議員を含む)・行政など幅広い顧客の信頼へとつなげていきます。 											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	人材育成	「改革・改善志向」	<p>①新システム稼働後、不具合が多く発生したため、不具合が起きた際に、全員が迅速かつ一貫性のある対応ができるよう、マニュアルを作成します。</p> <p>②会議運営に関する業務の棚卸し 本会議・委員会運営に関する各業務について、現状では整合性が見つからないことや、紙資料削減に向けた取組等、AI等の新しい技術を活用してより効率化できることを課題として洗い出し、必要な改善策を検討し、取り組みます。</p>	<p>①議場システム不具合対応マニュアルの作成</p> <p>②業務の棚卸しにより表面化した課題(14件)に対する業務改善件数</p>	<p>①議場システム不具合対応マニュアルの完成</p> <p>②2件</p>	○	<p>①マニュアルの構成・内容を検討し、マニュアルの素案を作成しました。</p> <p>②課題2件(請願・陳情、会議規則)に対する改善策と進め方について検討をしています。まず、他市の請願・陳情についてのホームページ掲載内容を調査し、掲載内容を精査しています。次に、標準会議規則改正に伴い、町田市議会会議規則の見直しについて検討しています。</p>	<p>①素案をもとに、漏れや矛盾がないかを確認・検証し、マニュアルを完成させます。</p> <p>②引き続き、改善に向けて検討と実施を進めます。</p>	<p>①素案を基に漏れや矛盾がないか検証し、マニュアルを完成させました。これまでの不具合事例を盛り込み、一部の職員だけでなく、誰もが不具合に対してスムーズに対応できるようになりました。</p> <p>②請願・陳情の提出がスムーズにできるようになり、他市の掲載内容の調査や議論を重ね、請願については、請願の手続きに関する情報をより見やすく整理し、ホームページの掲載内容を修正しました。また、陳情については、新たにホームページに掲載し案内を充実しました。次に、標準会議規則改正に伴い、他市状況等を調査・検討し、町田市議会会議規則の一部改正を実施しました。</p>	<p>①議場システム不具合対応マニュアルの完成</p> <p>②2件</p>	C	C:目標水準を達成したためです。	<p>①マニュアルの内容を最新に保ち続け、迅速な不具合対応を誰でもできるように維持管理する必要があります。</p> <p>②引き続き、課題を精査し、優先度の高い課題から改善を進める必要があります。</p>
2	人材育成	「改革・改善志向」	<p>テレワークの実施率を向上させることで、業務の効率化や働きやすい職場環境づくりを行います。</p>	テレワーク実施日数	10日	○	<p>テレワークに適した業務が何かを検討し、テレワークの注意事項および実施方法を分かりやすく整理した資料を共有したことにより、目標の半数の5日を達成しました。</p>	<p>職員が安心してテレワークを行えるように積極的なコミュニケーションをとり、実施の促進をより図っていきます。</p>	<p>積極的なコミュニケーションを通じて業務の進捗状況を密に共有しながら、テレワークの実施を促進した結果、設定した目標値を上回る成果を達成することができました。テレワークにより、生産性が向上し、ワークライフバランスを推進しました。</p>	14日	C	C:目標水準を達成したためです。	<p>引き続き、テレワークの一層の定着を図り、業務の生産性を高めるとともに快適な職場環境を構築していきます。</p>